

情報システムユーザースキル標準(UISS)
(06)IS 企画 & (08)IS 企画評価
(研修ロードマップ)

2009. 03

社団法人日本情報システム・ユーザー協会
情報システムユーザースキル標準センター

独立行政法人 情報処理推進機構
経済産業省

1. 研修コース体系図----- (06&08)-2
2. 研修コース一覧----- (06&08)-3
3. 研修コースの内容----- (06&08)-4

研修コース体系図 (06)IS 企画 & (08)IS 企画評価

= 当該領域研修コース
 = 他の領域研修コース

	初級	中級	上級	特論
テクノロジー	IT要素技術	アプリケーションアーキテクチャ モニタリング手法		
マネジメント	IS受入管理 IS運用管理	プロジェクトマネジメント実践		
ストラテジ	IS企画初級 事業戦略初級 システム要件定義	IS企画中級 業務プロセスのモデリング手法 システム方式の策定・調達 ITプランニング	IS企画上級 IT統制	インダストリ アプリケーション動向

研修コース一覧 (06)IS 企画 & (08)IS 企画評価

分類	コース名	研修方法			研修期間		ページ	備考 (参照先)
		eラーニング	講義	ワーク ショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)		
初級	IS企画初級	○	○		12 時間	2 日間	(06)-4	
	IT要素技術	○	○		18 時間	3 日間	(07)-5	(07) IS導入
	IS受入管理		○			1 日間	(07)-19	(07) IS導入
	IS運用管理		○	○		2 日間	(11)-7	(11) IS運用
	事業戦略初級	○	○		6 時間	1 日間	(01)-4	(01) 事業戦略・IS戦略
	システム要件定義		○			2 日間	(07)-15	(07) IS導入
中級	IS企画中級		○	○		3 日間	(06)-5	
	業務プロセスのモデリング手法	○	○		12 時間	2 日間	(06)-6	
	システム方式の策定・調達	○	○		12 時間	2 日間	(06)-7	
	アプリケーションアーキテクチャ	○	○		12 時間	2 日間	(07)-12	(07) IS導入
	モニタリング手法		○			1 日間	(04)-4	(04) IS戦略実行マネジメント
	プロジェクトマネジメント実践		○	○		2 日間	(05)-6	(05) プロジェクトマネジメント
	事業継続計画	○	○	○	18 時間	3 日間	(15)-14	(15) 共通業務
上級	IS企画上級		○	○		2 日間	(06)-8	
	IT統制		○	○		3 日間	(16)-7	(16) システム監査
特論	インダストリアプリケーション動向	○	○		6 時間	1 日間	(06)-9	

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	IS企画初級
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input checked="" type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、IS企画について、上司の指導の下で企画業務ができる基本的な知識の修得を目的とする。。</p> <p>○ 情報システムの企画、(外部委託も含めた)開発工程や管理業務に関する知識を学習する。</p> <p>(例) 代表的なパッケージ、システム開発のライフサイクル、システム開発手法、スケジュール・進捗・品質管理の方法など</p>
受講対象者	上司の指導の下でIS企画ができることを目指す者
研修方法	講義、eラーニング
研修期間	標準日数 2 日(クラスルーム)：標準時間 12 時間(eラーニング)
スキル修得目標	<p>開発/改善/改革対象に関わる現情報システムを IS 企画に把握することができる</p> <p>対象業務システムの機能とデータが開発/改善/改革対象の再構築に活用できるように整理され、文書化することができる</p> <p>IS 企画の開発・運用・保守に関する期間・体制・工数の大枠の妥当な予測をすることができる</p> <p>IS 導入計画の開発、運用、保守、移行、環境整備および品質に関する基本要件を正確に捉えることができる</p> <p>ベンダからの提案内容や費用見積りを受領し、比較可能な形式で整理することができる</p> <p>ベンダから受領した提案書について、RFP で要求した内容と提案内容の整合性を、提案評価基準に従って評価することができる</p>
関連知識	<p>ビジネス環境分析手法，業務分析手法，業務設計，ビジネスプロセスマネジメント(BPM)，ビジネスプロセスリエンジニアリング(BPR)，</p> <p>CSF(Critical Success Factors)，ベンチマーク，ユースケース</p> <p>KPI(Key Performance Indicator)，KGI(Key Goal Indicator)，バランススコアカード，BPO，SFA，SCM</p> <p>開発投資対効果，コスト見積り手法，システムライフサイクル，全体開発スケジュール立案に関する知識，開発プロジェクト体制構築に関する知識</p> <p>IS 運用指標の評価方法</p> <p>差異分析手法，ヒアリング手法，構造化手法，仮説構築法</p> <p>特許申請に関する知識，クロスライセンス契約に関する知識，情報システムモデル</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	IS企画中級
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	当コースは、IS企画について、独力で企画業務ができる応用的な知識の修得を目的とする。 ○ 必要な投資やリソースと業務上の効果とを想定し実現可能で整合のとれたISを企画するための、実践的な知識を、ワークショップも含めながら学習する。
受講対象者	独力でIS企画ができることを目指す者
研修方法	講義、ワークショップ
研修期間	標準日数 3日(クラスルーム)
スキル修得目標	業界知識を踏まえ対象業務における業務上の課題を適切に分析することができる ビジネスモデルを実現するために、対象業務および関連する全業務を整理し、業務機能の再構成および業務プロセスを適切に企画することができる 業務モデルとシステムアーキテクチャによる企業目標、経営戦略およびIS戦略の実現性を検討することができる IS導入計画の目的、期間、コストおよび作業責任分担等の基本方針を明確にすることができる 業務知識を踏まえ適用情報技術と対象業務機能とを対比し、IS導入計画全体の整合性をとることができる 業務運用指標の評価および検証結果から適切な評価結果を導き、業務運用に関する課題抽出およびニーズ分析をすることができる 業務運用の評価結果、課題、ニーズおよび経験等を次期IS企画に反映することができる
関連知識	ビジネス環境分析手法、業務分析手法、業務設計、ビジネスプロセスマネジメント(BPM)、ビジネスプロセスリエンジニアリング(BPR)、CSF(Critical Success Factors)、ベンチマーク、ユースケース KPI(Key Performance Indicator)、KGI(Key Goal Indicator)、バランススコアカード、BPO、SFA、SCM 開発投資対効果、コスト見積り手法、システムライフサイクル、全体開発スケジュール立案に関する知識、開発プロジェクト体制構築に関する知識、IS運用指標の評価方法、差異分析手法、ヒアリング手法、構造化手法、仮説構築法 特許申請に関する知識、クロスライセンス契約に関する知識、情報システムモデル

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>業務プロセスのモデリング手法</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、業務プロセス再設計のためのモデリングに関する応用的な知識を修得することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現状の業務プロセスの可視化や問題点の抽出を行い、現状とあるべき姿とのギャップ分析を行い再設計する知識を学習する。 ○ コース前半では、将来のあるべき姿を描くための一般的なモデリング手法を学習する。 ○ コース後半では、実際の業務再設計とモデリングを演習する。
受講対象者	業務プロセスの再設計や改善について業務プロセスのモデリングができることを目指す者
研修方法	講義、eラーニング
研修期間	標準日数 2 日(クラスルーム)：標準時間 12 時間(eラーニング)
スキル修得目標	<p>業界知識を踏まえ対象業務の流れと情報を IS 導入計画の視点から整理することができる</p> <p>業界知識を踏まえ対象業務における業務上の課題を適切に分析することができる</p> <p>機能とデータが開発/改善/改革対象の再構築に活用できるように整理され、文書化することができる</p> <p>ビジネスモデルを実現するために、対象業務および関連する全業務を整理し、業務機能の再構成および業務プロセスを適切に企画することができる</p> <p>業界知識を踏まえ、対象業務と策定した業務プロセスの主要な変更点および業務実施上の具体的課題を正確に整理することができる</p> <p>業務プロセスの変更点および業務実施上の具体的課題を文書化することができる</p>
関連知識	<p>リスク分析手法, 業務モデル, 情報システムモデル, 業務分析手法, IT 評価手法</p> <p>ビジネス環境分析手法, ビジネスプロセスマネジメント(BPM), ビジネスプロセスリエンジニアリング(BPR)</p> <p>CSF(Critical Success Factors), ベンチマーク, ユースケース</p> <p>業務設計, KPI(Key Performance Indicator), KGI(Key Goal Indicator), バランススコアカード</p> <p>BPO, SFA, SCM</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	システム方式の策定・調達
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、IS企画に必要なシステム方式の策定（パッケージ適用・自社開発（社内開発、請負）・ASPサービスなど）に関する知識の修得を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務知識を踏まえ、対象業務機能を検討して適用すべき情報技術を選定するための知識を学習する。 ○ コース前半では、各システム方式の特性やそのメリット・デメリット、調達方法や契約に関する知識を学習する。 （例）コスト管理、開発スケジュール、機能拡張性、業務・システム環境への適合性、システム導入に必要となるインフラ基盤、RFPの作成など ○ コース後半では、ビジネスモデルや対象業務機能からのISの要件抽出と、最適な情報技術やシステム方式の選定について、事例学習と演習を行う。
受講対象者	ISを企画し、その調達のためのRFP作成やベンダの選定に携わる者
研修方法	講義、eラーニング
研修期間	標準日数 2日（クラスルーム）：標準時間 12時間（eラーニング）
スキル修得目標	<p>IS 企画の主要機能を明確にし、それを実現するための情報と処理を明確にすることができる</p> <p>主要機能を実現するシステムアーキテクチャを明確にすることができる</p> <p>パッケージソフト導入および外部資源の活用を検討することができる</p> <p>調達関連情報を収集し、調達方法を検討できる。</p> <p>提案評価基準を作成し、RFP を作成・発行できる。</p> <p>提案評価とベンダの選定ができる。契約の交渉と契約ができる。</p>
関連知識	<p>システムの最上位レベルでの方式確立（ハードウェア・ソフトウェア・手作業の機能分割、ハードウェア方式、ソフトウェア方式、アプリケーション方式、データベース方式ほか）、調達の要求事項に関する知識、調達の条件に関する知識、内外作基準に関する知識、リスク分析手法、コスト見積り手法、提案評価の際の評価項目および選定基準に関する知識、提案書の記述項目、調達選定に関する知識、見積書の記述項目、著作権管理に関する知識、ライセンス契約に関する知識、サービスレベル契約（SLA）、ソフトウェア契約に関する知識、守秘契約（NDA）、下請法</p>

コース名 研修コースの内容	IS企画上級
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input checked="" type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	当コースは、IS企画について、課題の発見と解決をリードでき、指導・管理できる高度かつ専門的な知識の修得を目的とする。 ○ 必要な投資やリソースと業務上の効果とを想定し、実現可能で整合のとれたISを企画するための、専門的な知識を学習する。
受講対象者	IS企画を指導または管理する立場を目指す者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	標準日数 2日(クラスルーム)
スキル修得目標	<p>業界知識を踏まえ対象業務における業務上の課題を適切に分析することができる</p> <p>ビジネスモデルを実現するために、対象業務および関連する全業務を整理し、業務機能の再構成および業務プロセスを適切に企画することができる</p> <p>業務知識を踏まえ適用情報技術と対象業務機能とを対比し、IS導入計画全体の整合性をとることができる</p> <p>業務処理の正確性、完全性、可監査性を考慮して、認可方法、情報のインテグリティ、アクセスコントロール、バックアップ、および監査証跡の記録について、その方針を定義できる。</p> <p>ガバナンスの確立のために、プロセスオーナー/システムオーナー/データオーナーを明確にすることができる</p>
関連知識	<p>ビジネス環境分析手法、業務分析手法、業務設計、ビジネスプロセスマネジメント(BPM)、ビジネスプロセスリエンジニアリング(BPR)、</p> <p>CSF(Critical Success Factors)、ベンチマーク、ユースケース</p> <p>KPI(Key Performance Indicator)、KGI(Key Goal Indicator)、バランススコアカード、BPO、SFA、SCM</p> <p>開発投資対効果、コスト見積り手法、システムライフサイクル、全体開発スケジュール立案に関する知識、開発プロジェクト体制構築に関する知識</p> <p>IS運用指標の評価方法</p> <p>差異分析手法、ヒアリング手法、構造化手法、仮説構築法</p> <p>特許申請に関する知識、クロスライセンス契約に関する知識、情報システムモデル</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>インダストリアプリケーション動向</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input checked="" type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、各インダストリにおける最新の動向や現在注目を集めているアプリケーションやソリューションに関する知識を修得することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象とする各インダストリ別にアプリケーションやソリューションのテーマについて最新の情報を提供する ○ 受講者はスキルの維持向上を図るために、定期的または必要に応じてテーマを選択し受講する ○ 講義形式によってアプリケーションの実演などを行ってもよい
受講対象者	<p>関連業界に関する知識や使用されるアプリケーションなどについて最新情報をフォローアップしていきたい者</p>
研修方法	<p>講義</p>
研修期間	<p>標準日数 1 日(クラスルーム)：標準時間 6 時間(eラーニング)</p>
スキル修得目標	<p>最新のアプリケーションやソリューションの知識を修得できる。</p>
関連知識	<p>最新のアプリケーション 導入実績の多いアプリケーション 最新事例</p>